

普及活動情勢報告（平成28年3月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

シントウ品目別現地検討会を南国市で開催しました



環境制御技術実践ほ場を紹介

3月2日、南国市において第2回シントウ品目別現地検討会が開催されました。農家、農協、振興センターなどの関係者を含め、約45名の参加がありました。農業改良普及課は、環境制御技術実践農家2戸の栽培概要、温度管理、生育診断について説明しました。実践農家からは、灌水量や施肥管理が大きく変わり、昨年以上に収量が上がったという話が聞かれ、更に高い収量目標を掲げていました。

現在、南国市ではシントウ農家7戸が炭酸ガス発生装置を導入し、環境制御技術を実践しています。今後も、導入農家は増える見込みであり、農業改良普及課は技術の検討を重ね、シントウでの栽培技術の確立に取り組んでいきます。

ニラの環境制御技術の確立に向けて



実証圃での意見交換

3月14日、JA土佐香美管内の環境制御技術実証農家のほ場で、ニラの品目別現地検討会が開催され、生産者と関係機関53名が参加しました。

農業改良普及課からは、実証ほの概要や課題となっている葉先枯れの発生状況等について説明しました。実証農家からは、栽培管理の改善点や日射比例灌水装置を使用してみたの感想が聞かれ、参加者から1回当たりの灌水量や収量などの質疑や意見交換がなされました。

今後も農業改良普及課では、葉先枯れの課題解決に向けて、温湿度データなどの分析を行い、ニラの増収技術の確立に向けて支援していきます。

更に環境制御技術を磨こう！ ～中央東地区環境制御技術講演会及び現地検討会から～



中央東地区環境制御技術講演会から

3月10日、農業改良普及課は、JA長岡青婦人会館・ピーマンほ場で、全農から講師を招き、中央東地区環境制御技術講演会及び現地検討会を南国市施設園芸環境制御技術研究会と南国市3JAとの共催で開催し、生産者17名、関係機関21名が参加しました。

講師からは、収量アップのためには温湿度管理や炭酸ガス施用だけではなく、日頃の収穫・誘引等の作業管理、根張りや灌水など地下部の重要性について話があり、現地のは場で実際に土を掘り、根の状態を観察しました。生産者からは「農家の視点に立った意見で、非常にわかりやすかった」との声が聞けました。

農業改良普及課は、環境制御技術のレベルアップを図るために、今後も研究会・JAと連携して講演会や現地検討会を開催し、積極的に情報提供を行います。

物部ユズ座談会（生産者の情報及び意見交換会）



重要病害の説明を聞く参加者

3月9日～11日、JA土佐香美柚子生産部会は、部会活動の活性化を目的とした座談会を5地区で開催し、生産者85名が参加しました。

農業改良普及課からは、幹腐病の対策や黒点病果実の混入防止について指導しました。

参加者からは、「幹腐病が重要病害であることが理解できた」、「今年から幹腐病の防除に取り組む」等の意見が出されました。

農業改良普及課では、幹腐病に対して更に生産者の理解を深め、改植を進めて物部地域から幹腐病の撲滅に取り組みます。

菰生米研究会先進地視察研修（緑肥作物を活用した米のブランド化の取り組み）



研修会の様子

3月4日、JA土佐香美香北菰生米研究会10名が参加し、兵庫県明石市の「東江井地区営農組合」で視察研修を行いました。

農業改良普及課では、米の有利販売について学んでもらうため、緑肥作物で栽培した米と地域の特産品を合わせ、有利販売に成功している東江井営農組合での研修を設定しました。

参加者らは機械の共同利用などで生産費を抑え、緑肥作物の活用とエコファーマーの取得で有利販売、ヒノヒカリ100%のお酒の開発などについて学習しました。

参加者は強く感銘を受け、自分たちも更に活動を広げて行きたいと話合っていました。

オクラ現地検討会の開催



現地検討会の様子

3月11日、JA土佐香美オクラ春菊部会は土佐山田町内にて無加温ハウスの現地検討会を開催し、22名が参加しました。

農業改良普及課からは、収穫開始までの今後の灌水管理について情報提供しました。また、発芽率の良かった圃場を中心に4圃場を巡回し、生産者から栽培管理について紹介してもらいました。参加者からは、播種方法や機械播種についての質問があり、部会員同士での情報交換ができました。

管内では3月下旬から、加温オクラ、無加温ハウスオクラ、露地オクラと順次出荷が始まります。生育に合わせた換気管理や肥培管理等を徹底し安定出荷できるように、今後も現地検討会等を開催していく予定です。

平成27年度青年農業士中央東ブロック協議会及び研修会を開催



研修会では光合成について質問がありました

3月10日、青年農業士中央東ブロック協議会の総会及び研修会が21名の参加者のもと開催されました。

総会では、本年度の活動実績や次年度の計画を協議を行なった後、振興センターから「名古屋でのPR活動」についてスライドを使って報告を行ないました。

研修会では「環境制御の取組み状況について」と題して、振興センターから管内の導入機器等の普及状況やハウス内環境データをスマホで確認できるシステムについて話題提供をおこないました。参加者から「ユリ栽培で炭酸ガス施用事例があるか」、「光合成に必要な光の量は？」など質問がありました。1年間の活動や取組について共有できた会となりました。農業改良普及課は、今後も活発な活動が継続できるよう支援を続けていきます。

農村女性リーダー総会



総会の様子

3月4日、香美農林合同庁舎で農村女性リーダーの総会が開催されました。出席者19名が3つの議案を審議、承認し、平成28年度の活動計画と運営体制が決まりました。農業改良普及課は助言や情報提供を行い、会の円滑な進行に努めました。また、ネットワーク総会、PR活動、協議会の運営等平成28年度の活動に向けて活発な意見交換がなされ、新たな取組みにもチャレンジすることになりました。

農業改良普及課は、今後、農村女性リーダーの積極的な取組みが円滑に実施できるように支援していきます

普及活動実績や地域での取組みなどについて検討・意見交換～第2回普及推進協議会を開催～



熱心な検討や意見交換がなされました

2月29日管内生産者や市、JA等の委員で構成する普及推進協議会を開催しました。

協議会では、振興センターから本年度の普及活動実績の概要や来年度の計画を説明した後、委員の方々から普及活動に対するご意見に加え、日ごろの活動などもご紹介いただきました。

具体的には「重点プロジェクトの取組品目を追加してもらいたい」「早めの情報発信や若手への支援を強化してほしい」「労力軽減のための機械導入を支援してほしい」など普及計画などに対するご意見を頂きました。また、JA女性部や農漁村女性グループ、集落営農組織などの活動や6次産業化の現状と課題などが紹介され、有意義な協議会となりました。